

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

No.95
October 2017

応用地域学会ニュースレター

CONTENTS

1. 第31回研究発表大会のご案内
2. 第8回アジア地域科学セミナー
3. 応用地域学研究への投稿論文の募集
4. 事務局だより

1. 第31回研究発表大会のご案内

大会実行委員長 **田淵 隆俊** (東京大学)

2017年度ARSC研究発表大会を、東京大学本郷キャンパスにおいて、下記要項で開催いたします。多数のご参画をお待ちしております。

(1) 期日 2017年11月25日(土), 26日(日)

※ 坂下賞受賞講演および総会は、25日の午後(16:40~18:20)に開催されます。

※ 懇親会は25日の総会終了後(18:40~20:40)に開催されます。

(2) 大会ホームページ

<https://sites.google.com/site/arsc2017tokyo/>

最新情報については、大会ホームページをご覧ください。

※ARSCホームページ (<http://www.arsc.org>) からリンクしています。

(3) 会場案内

東京大学本郷キャンパス 経済学研究科 (〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)



※会場アクセスについては、大会ホームページをご覧ください。

(4) プログラム

プログラムは別紙の通りですが、直前の変更もありえますので、最新版については大会ホームページ (<https://sites.google.com/site/arsc2017tokyo/program>) をご覧ください。

(5) 参加申込および支払い

大会ホームページから参加申込用紙をダウンロードして必要事項をご記入の上、下記の大会事務局（大会実行委員会）宛に、電子メールに添付して **11月10日(金)必着** でお送り下さい。すでにお申し込みいただいた方々、ご協力ありがとうございました。

<参加申込先(第31回研究発表大会実行委員会)>

■E-mail: todaiarsc2017@gmail.com

<参加費等>

- 学会参加費： 正会員：3000円
非会員：5000円
学生(会員・非会員とも)：1000円
- 懇親会費： 学生以外：6000円(予定)
学生：2000円(予定)

- ※ 懇親会の申し込みは、**11月10日(金)まで**にお願いします。
- ※ 学会参加費・懇親会費は学会当日、受付にてお支払いください。

(6) 総会の委任状の提出

総会を欠席される方は、「参加申し込み用紙及び総会委任状」を大会ホームページからダウンロードの上、総会への出欠についてのご回答、ならびに、総会委任状箇所への必要事項を記入し、大会実行委員会 (todaiarsc2017@gmail.com) までお送りください。

(7) 研究発表

<ア> 発表論文の送付

発表者は、最終原稿 (PDF) を11月10日(金)までに、**座長、討論者、大会事務局 todaiarsc2017@gmail.com** の3か所それぞれにお送りください。

大会事務局にお送りいただいた論文は、大会ホームページにアップする予定です。アップロードを希望されない方は、その旨をメールに明記してください。なお、大会終了後11月末日をもって論文のリンクを削除する予定です。論文の公開を希望されない場合は、その旨を大会事務局までお伝え下さい。

座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会プログラム委員会 (arsc2017application@gmail.com) にお問い合わせください。

<イ> 研究発表および会場

原則として、発表20分、予定討論10分、一般討論10分です。座長の指示・判断にしたがって、円滑な運営にご協力ください。発表会場には VGA接続のプロジェクターのみ準備する予定です。ご自身のノートPC等をご持参ください。なお、発表会場にて、論文またはそれに準ずるもののコピーを直接配布していただいても結構です。その場合は30部程度ご持参下さい。

(8) 懇親会

- 会 場： **Capo PELLICANO Hongo (カポ・ペリカーノ本郷店)**
東京大学医学部教育研究棟13 大学工学部食堂
(「3. 会場案内」に記載の地図をご参照ください)
- 日 時： **2017年11月25日(土)18:40~20:40**
- 参加費： **学生以外：6000円(予定)**
学生：2000円(予定)

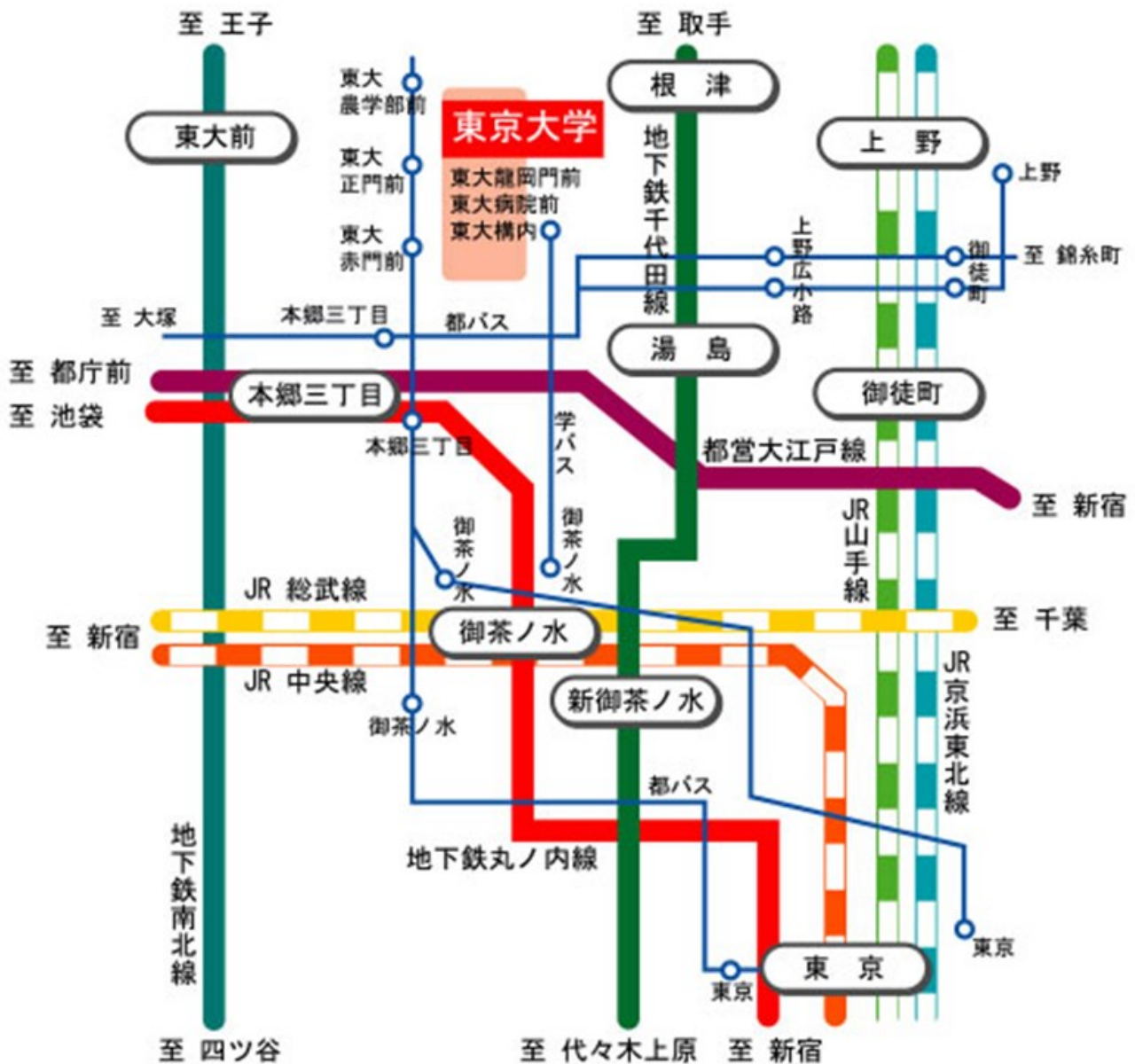
(9)その他

- ・事務局でのお弁当の手配は致しませんので、必要な方は各自ご持参下さい。
- ・昼食は、東京大学キャンパス内学食（银杏メトロ食堂等）がご利用いただけます。また、本郷キャンパス内外に、コンビニエンスストアや飲食店等もございますので、適宜ご利用下さい。

(10)会場アクセス

会場へのアクセスは下記の通りです。詳細に関しては、<https://sites.google.com/site/arssc2017tokyo/access>をご覧ください。

- ⇒ 本郷三丁目駅（地下鉄丸ノ内線）から徒歩8分
- ⇒ 本郷三丁目駅（都営地下鉄大江戸線）から徒歩5分
- ⇒ 湯島駅（地下鉄千代田線）から徒歩10分
- ⇒ 根津駅（地下鉄千代田線）から徒歩15分
- ⇒ 東大前駅（地下鉄南北線）から徒歩12分



2. 第8回 アジア地域科学セミナー

ARSC事務局

アジア地域科学セミナーは、アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために、応用地域学会（ARSC）、中国地域学会（RSAC）、台湾地域学会（CRSA）、韓国地域学会（KRSA）が共催して開催しております。

第8回アジア地域科学セミナーは、2018年9月14日を含む週に、韓国済州島で開催の見込みです。詳細がわかり次第、学会ホームページやニュースレター、メーリングリスト等でご案内いたします。

なお、第7回アジア地域科学セミナーは、National Taiwan UniversityとChinese Regional Science Association Taiwanの主催により、National Taiwan Universityで、2017年9月8～10日に開催されました。ARSCからは、26本の論文発表と30人の参加がありました。

3. 応用地域学研究への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長 **大澤 義明**（筑波大学）

「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けています。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。奮ってのご投稿をお待ちしております。特に、若い研究者によるご投稿、地域課題に関する問題解決型論文、地方創生、Society 5.0、震災復興など適時性に優れた論文のご投稿をお待ちしております。

1. 論文投稿希望の方は、論文はできるだけword形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。宛先は、編集委員長です（e-mail; osawa@sk.tsukuba.ac.jp）。LaTeXで作成された原稿でpdfファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿はwordでお願いすることがあります。
2. 受付の確認を電子メールで送付いたしますので、投稿後一ヶ月を過ぎても連絡が無い場合は、下記までお問い合わせ下さい。
3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行半年後に掲載論文を学会HPにて公開します。

応用地域学研究に関するお問合せ先

応用地域学研究編集委員長

大澤 義明（筑波大学システム情報系社会工学域）

TEL & FAX : 029(853)5224

E-Mail : osawa@sk.tsukuba.ac.jp



ARSC会員現勢

2017年10月31日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 504名(内、一般会員 428名, 学生会員 66名, 海外会員5名)

賛助会員 5団体(総口数7口)。

第31回ARSC研究発表大会の参加申込・総会委任状について

○研究発表大会の参加申込書, ならびに総会欠席の際の委任状を添付しております。(大会ホームページ<<https://sites.google.com/site/arsc2017tokyo/>>からもダウンロードできます。)早めのご提出をお願いいたします。提出先については2ページに記載。

連絡先不明者の情報提供にご協力ください

会員の皆さまには, ご所属や住所を変更された場合, ご自身にて応用地域学会の会員システムより, 登録情報の更新をお願いしておりますが, 情報が古いまま, ご住所やメールアドレスが不明となっている方が多数いらっしゃいます。

2017年6月10日に開催された応用地域学会運営委員会において, 事務局より会員の皆さまに「連絡先不明者」についてお尋ねしたいと提案し, 承認されました。つきましては, 連絡先不明者に関する情報提供をお願い申し上げます。

以下のリストに記載されている方にコンタクトが可能であれば, 是非, ご本人に連絡先不明者リストに名前があることを伝えていただけませんか。ご本人から事務局に, 新しい連絡先を知らせてもらえると幸いです。ご協力のほど, よろしくお願い申し上げます。

連絡先不明者：	No. 8812	生井澤 進 氏 (一般会員)
	No. 9950	麻生 憲一 氏 (一般会員)
	No. 0023	近藤 広紀 氏 (一般会員)
	No. 0041	林 達朗 氏 (一般会員)
	No. 9742	武藤 慎一 氏 (一般会員)
	No. 0921	山本 俊 氏 (学生会員)
	No. 1412	稲田 啓佑 氏 (学生会員)
	No. 0206	小椋 隆司 氏 (学生会員)
	No. 1011	鄭 丹 氏 (学生会員)
	No. 1308	爲季 和樹 氏 (学生会員)
	No. 1211	津田 敏明 氏 (学生会員)
	No. 1416	林 遼平 氏 (学生会員)
	No. 0818	星野 匡郎 氏 (学生会員)
	No. 1320	矢田 晃一 氏 (学生会員)

学会事務局からのお願い

- ◆ 会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ (<https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arisc>) にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。
- ◆ 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込はARSCのホームページ (<http://www.arisc.org/>) の「入会手続き」より行ってください。入会に関するお問い合わせは、ARSC事務局にメール (clerk@arisc.org) まで。
- ◆ 事務局やニュースレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、是非、お知らせください。

編集 後記

先日、徳島県の上勝町を訪れた。高齢者を活用した葉っぱビジネス「彩（いろどり）事業」で有名な町だ。事業に携わるおばあちゃんは相変わらず元気で、その日も自宅のPCから朝一番の注文を取ったことを自慢げに話してくれた。スピード勝負。病気で寝ている暇などない。究極の介護予防だ。

数年前の訪問から変化しているところも町にはあった。彩事業を核としたインターンシップが功を奏し、多くの若者がそれを契機に移住して来ていた。彼らは新しくファミリー層をターゲットとしたキャンプ場やクラフト・ブルワリーなどを立ち上げ、まちづくりの新たな潮流が生まれていた。人は人を呼ぶ。彩事業の試みが若者をも巻き込み、持続可能な地域活性化事業になっていく可能性を感じた。（TH）

ARSC NEWS No.95 （2017年10月発行）

発行元 応用地域学会事務局（文部科学省学会コード＝10023）

会長：安藤 朝夫

ARSC NEWS 担当：高塚 創（渉外担当幹事）／田宮 すみ恵（事務局）

〒162-0805 東京都新宿区矢来町126 NITTOビル（株）メッツ研究所内

TEL: 03 (5227) 7804 / FAX: 03 (5227) 7807

Email: clerk@arisc.org / 学会HP: <http://www.arisc.org/jp/>